

キラリと光る文化芸術のまち内子

内子町文化芸術推進基本計画<概要版>

(1) 文化芸術推進基本計画の趣旨

内子町文化芸術推進基本計画（以下、「計画」という。）は、内子町総合計画を推進していくための個別計画の一つとして位置づけ、今後の内子町における文化芸術に関する施策の方向性を示し、戦略的かつ継続性のある取り組みを行うために策定するものです。

(2) 対象とする文化芸術の範囲

- ①芸術（文学、音楽、美術、写真、演劇、舞踊 等）
- ②メディア芸術（映画、漫画、アニメーション 等）
- ③伝統芸能（雅楽、能楽、文楽、歌舞伎、組踊 等）
- ④芸能（講談、落語、浪曲、漫談、漫才、歌唱 等）
- ⑤生活文化（茶道、華道、書道、食文化その他の生活に係る文化）
国民娯楽（囲碁、将棋その他の国民的娯楽）
出版物等（出版物及びレコード等）
- ⑥文化財等（有形及び無形の文化財並びにその保存技術）
- ⑦地域における文化芸術（各地域の文化芸術の公演、展示、芸術祭等への支援、地域固有の伝統芸能及び民俗芸能）

(3) 計画の位置づけ

本計画は、「内子町総合計画」を上位計画とし、該当分野の計画の一つとして位置づけます。さらに、内子町総合計画を具現化していくため、定める目標の達成を目指す実施計画の一部と位置づけます。

また、「内子町歴史的風致維持向上計画」とも連携を図り、効果的な文化芸術振興を進める指針とします。

(4) 計画の期間

計画は、2020年度から2024年度までの5年間の計画とします。状況に応じて内容を柔軟に見直ししていくものとします。

2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)
内子町文化芸術推進基本計画						次期計画	
第2期内子町総合計画						次期計画	
内子町歴史的風致維持向上計画							

(5) 基本理念に基づく計画の目指すべき姿

目標1 文化芸術の創造・振興でキラリと光るまちをつくる

文化芸術に関する公演や体験講座など、文化芸術を創造し、発展させ、文化芸術教育と文化芸術活動の参加機会が豊富に提供されている。その教育や活動を通して、町民の豊かな人間性や創造性が培われ、また、いろいろな分野と広く連携して取り組むことで、地域が活性化され、内子特有の魅力増進に繋がっている。

【数値目標1】

文化芸術を鑑賞する町民の割合
現状 81.6% → 目標 90%

目標2 地域の古き良き伝統文化を守り、活用し、継承する

地域の豊かな文化財や伝統的な文化を資源として、観光等に効果的かつ戦略的に活用し、交流人口の増加や定住促進など地域の活性化を図り、さらに、地域の文化財や伝統等の多様な魅力を、世界へ発信することで国際交流を深め、創造的で活力ある社会が形成されている。

【数値目標2】

文化芸術的な魅力を感じる
町民の割合
現状 95.5% → 目標 100%

目標3 内子町の文化芸術を支える体制を強化する

文化芸術団体や文化施設、また、企業等の民間事業者や文化ボランティア等が連携・協働し、文化芸術の創造・活動の場を広げ、地域の文化力向上に向けて取り組まれている。文化芸術団体や文化施設等の職員が、継続的に活動するために必要なノウハウを強化し、文化芸術に係る多様な財源を確保することで、持続可能で豊かな文化芸術が推進されている。

【数値目標3】

文化芸術活動をする町民の割合
現状 36.5% → 目標 50%

(6) 各主体の役割

文化芸術振興を推進していくためには、町民、各種団体、行政が相互に連携・協働を図っていくことが不可欠です。

町民 文化芸術活動の推進の主役は町民です。町民一人ひとりが文化芸術に触れ、興味・関心を持ち、積極的に文化芸術を推進していく役割を担っています。また、地域の古き良き伝統文化を守り、活用し、次世代へ継承することの、当事者としての重要な役割も担っています。

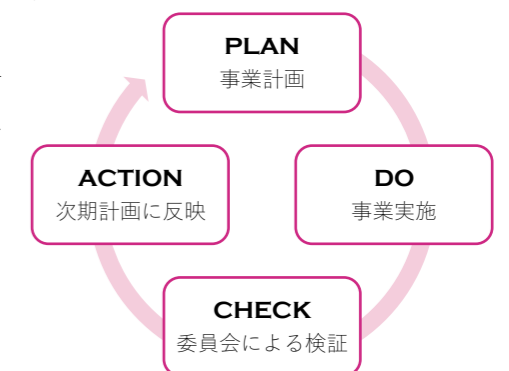
各種団体 各文化芸術団体の活動は、文化芸術の推進において重要な役割を担っており、町民の文化芸術活動の基盤となっています。また、文化芸術活動をサポートする側として、企業や団体、個人に至るまで協賛等の支援やボランティア等の協力により、協働して文化芸術を推進していくことが期待されています。

行政 町民の参画の推進と文化創造事業実行委員会の強化を図り、行政全般を文化芸術の視点から捉えて施策判断に活用するよう努めます。文化施設等を適切に運営し、文化芸術活動の場の充実や積極的な情報提供を行い、町民が活動しやすい環境づくりを進めることが行政の役割であると考えます。町民や活動団体との相互関係の構築を図りながら、本町の特性を生かした文化芸術振興を進めていきます。

(7) 計画の推進体制

本計画を着実に推進し、実効性を高めるためには、計画の進行管理を行うことが必要になります。学識経験者、専門家及び町民・担当職員から構成する内子町文化創造事業実行委員会で、事業毎に評価を行い、成果を検証することで、計画の総合的な推進を図ります。

本計画の進捗管理・評価は、町民や議会からの意見等をふまえながら、点検・評価を通じて抽出された課題を、内子町文化創造事業実行委員会で諮問し、PDCA（計画－実行－評価－改善）サイクルで、改善策へと繋げるように見直しを行います。



理念

「キラリと光る文化芸術のまち内子」の実現

目指すべき姿



基本的な方向性

<p>【戦略1】 内子座を核とした文化振興事業の推進</p>	<p>【戦略2】 内子町文化創造事業実行委員会の強化</p>	<p>【戦略3】 文化芸術で内子の魅力を高める</p>	<p>【戦略4】 子どもの文化芸術体験の多様な機会の充実</p>	<p>【戦略1】 文化財の保存・活用</p>	<p>【戦略2】 伝統芸能や祭りを守り、継承する</p>	<p>【戦略3】 伝統工芸の支援</p>	<p>【戦略4】 町並み、村並み、山並みの風景を守る</p>	<p>【戦略1】 町民の文化芸術活動をサポートする</p>	<p>【戦略2】 広報活動の強化</p>	<p>【戦略3】 取り組みを持続可能にする人材・団体の育成</p>	<p>【戦略4】 文化芸術に係る財源確保の仕組みづくり</p>
--------------------------------	--------------------------------	-----------------------------	----------------------------------	------------------------	------------------------------	----------------------	--------------------------------	-------------------------------	----------------------	-----------------------------------	---------------------------------

今後5年間の具体的な取り組み

<p>伝統芸能（文楽、狂言等）への理解を深める</p>	<p>多様な文化芸術公演の実施</p>	<p>アーティストインレジデンス</p>	<p>事業のコーディネート</p>	<p>事業の実施後の評価</p>	<p>観光協会や商店街等との連携</p>	<p>各種企業・団体との連携</p>	<p>連携協定大学との連携</p>	<p>ふるさと教育及び感性の醸成</p>	<p>文化財の保存活用</p>	<p>文化財の学習機会の提供</p>	<p>無形文化財の保護・継承</p>	<p>後継者の育成</p>	<p>観光資源の活用</p>	<p>景観の保全と活用</p>	<p>体験活動と発表の機会の提供</p>	<p>「広報うちこ」の活用</p>	<p>ホームページやSNSなどインターネットの活用</p>	<p>新たな情報提供方法の検討</p>	<p>文化芸術活動を支える人材・団体の育成</p>	<p>資金調達方法の検討</p>
-----------------------------	---------------------	----------------------	-------------------	------------------	----------------------	--------------------	-------------------	----------------------	-----------------	--------------------	--------------------	---------------	----------------	-----------------	----------------------	-------------------	-------------------------------	---------------------	---------------------------	------------------